連携教育から一貫教育へ

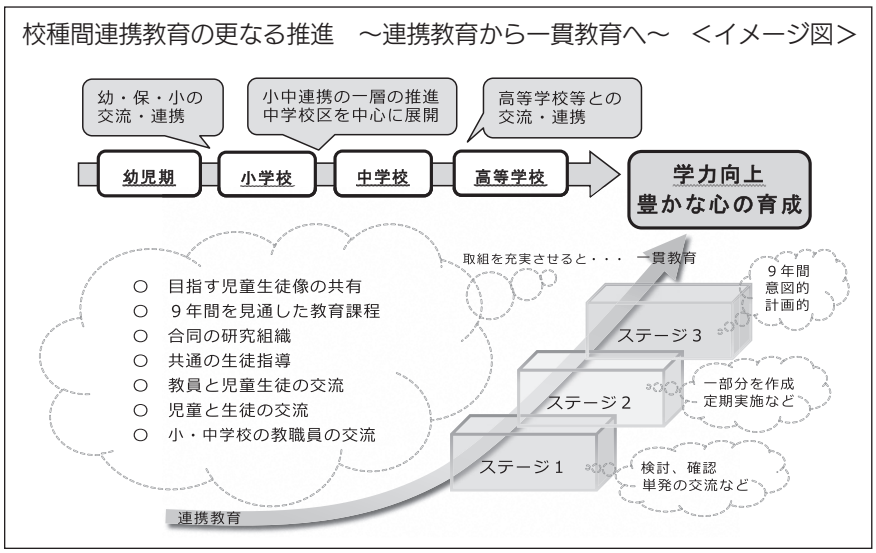
川越市教育委員会では、平成22年度から、校種間連携教育に取り組んできました。小学校と中学校の連携を進めるため、川越市内の小・中学校を8つのグループに分け、それぞれのグループにおいて委嘱研究を行っています。それぞれの地域や特性を生かし、小・中学校間での教職員や児童生徒の交流、中学校の部活動や授業の体験などを行うことにより、※中一ギャップの解消に一定の成果を上げてきました。

現在は、校種間連携教育を更に進め、平成29年度から小中一貫教育に向けた取組を行っています。小中一貫教育では義務教育九年間を見通した教育課程の編成、目指す児童生徒像の共有、小・中学校の教職員の交流などを行うことで、より一層の児童生徒の学力向上や豊かな心の育成を目指します。

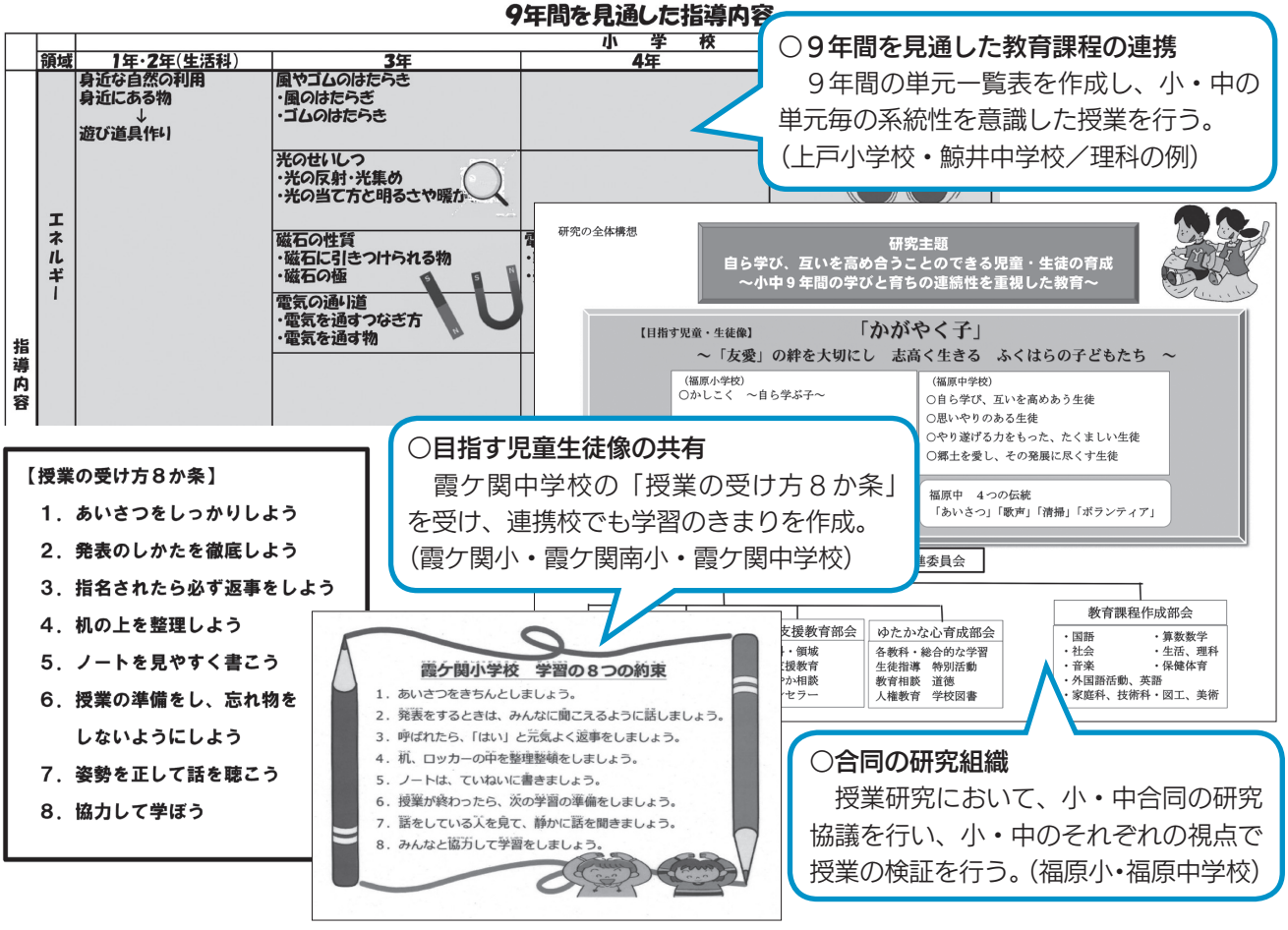
【武蔵野小・大東中合同あいさつ運動】

今年度は、①9年間を見通した教育課程の研究、②小・中学校合同の研究組織や協働授業に向けた取組を重点的に行っています。

※中一ギャップ…中学校に入学し、学習や生活の変化になじめず、不登校やいじめ等が急増する現象。



各学校における取組の例



○９年間を見通した教育課程の連携

９年間の単元一覧表を作成し、小・中の単元毎の系統性を意識した授業を行う。（上戸小学校・鯨井中学校／理科の例）

○目指す児童生徒像の共有

霞ケ関中学校の「授業の受け方８か条」を受け、連携校でも学習のきまりを作成。（霞ケ関小・霞ケ関南小・霞ケ関中学校）

【授業の受け方８か条】

1．あいさつをしっかりしよう
2．発表のしかたを徹底しよう
3．指名されたら必ず返事をしよう
4．机の上を整理しよう
5．ノートを見やすく書こう
6．授業の準備をし、忘れ物をしないようにしよう
7．姿勢を正して話を聴こう
8．協力して学ぼう

○合同の研究組織

授業研究において、小・中合同の研究協議を行い、小・中のそれぞれの視点で授業の検証を行う。（福原小・福原中学校）

教員が主体的に学ぶ「教育フェスタKAWAGOE」

川越市では、教育の充実のために、教職員の資質・能力の向上を目指して、学校や教職員等の優れた実践や研究の成果を広く発信する場、一人ひとりの教職員が主体的に学ぶ場として、「教育フェスタKAWAGOE」を平成27年度から開催しています。

今年度は、8月10日、市立教育センターで、第4回教育フェスタKAWAGOEが開催されました。午前は講演会、午後は「インタラクティブ(双方向)」をテーマに、26講座が設けられ約500人の教職員が参加しました。

教職人生に楽しみを見出すコツや今後の学校教育等について大学の先生にご講演いただきました

昨年度に引き続き、今年度も、午前に講演会、午後に発表と、内容の濃い研修会となりました。午前の講演では、教職人生に楽しみを見出すコツや今後の学校教育等についての講演がありました。午後の発表は、市内教職員の優れた実践や研究の成果を広く発信する場、発表から自身の実践を振り返り、質問したり意見を交換したりする場とし、双方向の参加型とすることで、主体的に学び合い、高め合うことができました。

発表者と参加者の双方向の学び

川越市マスコットキャラクター
ときも

第45回企画展 開催中 「川越とサツマイモ」

10月13日(土)～11月25日(日)

江戸時代、川越は政治や経済など様々な面で江戸とのつながりが強くありましたが、救荒作物として普及したサツマイモにおいても深い関わりがありました。

サツマイモは、江戸時代の中頃になって栽培技術が確立し、関東でサツマイモが栽培されるようになりました。川越地方は、関東ローム層の適度にやせた土壌でサツマイモの栽培に最適であり、重量のあるサツマイモは、新河岸川舟運の発達により江戸に運ばれました。このサツマイモは「川越本場」や「川越いも」などと呼ばれ、名声を博しました。

今回の企画展では、江戸時代から現在に至る川越とサツマイモとの関わりについて、歴史・民俗資料や絵画資料、また当館で所蔵するサツマイモ資料館(平成20年閉館)からの移管資料を中心にご紹介します。

下の資料は、明治10年(1877)に刷られた錦絵で、作者は四代目歌川国政です。※1「十三里」、※2「○やき」と書かれた看板を出した焼いも屋の前で、子どもたちが今の鬼遊びの一種である「ことろことろ」をして無邪気に遊んでいるほほえましい図柄です。庶民に身近な焼きいも屋と子どもたちの日常の一コマが鮮やかに描かれています。

本展示が、江戸時代から今日に至るまでの長きにわたる川越とサツマイモとの関係に思いをはせる機会となれば幸いです。

※1　栗(九里)より(四里)うまい十三里といわれ、サツマイモのことをさします。川越地方産のものだったかもしれません。

※2　サツマイモの輪切りではなく、一本まるごとを使ったもののことです。

子供あそび児をとろ児をとろ　川越市立博物館蔵

市立博物館…TEL 222-5399